

私たちの水は

中 島 雪 奈

八女市立福島小学校

私は、四年生のみんなど、オンライン見学で、「矢部川浄化センター」を見学しました。

矢部川センターはちくご市にあり、「水きらら」という愛称でよばれています。私は、「水きらら」という愛称が、かわいいなと思いました。浄化センターでは、一日に、一万四千立方メートルほどの下水を処理しています。一万四千立方メートルほどの水は、小学校のプール約、三十二杯分だときいて、私は、すごくおどろきました。さらに、浄化センターでは、三十四人が、二十四時間、交代しながら働いているときいて、私は、とても、大変だろうと思いました。

浄化センターの下水処理の仕組みは、機械の中をだんだんと水が流れてきれいになるというものです。水は、「最初沈澱池」「反応タンク」「最終沈澱池」の順番で通っていききれいになります。そのうちの「反応タンク」には、「活性汚泥」というび生物の集まりがいて、汚れを食べてくれています。水がどれだけきれいになったかは、「水質試験室」で検査されます。また、発生した汚泥は、肥料や材料として再利用されています。

水は、みんなが使う、大切な資源です。でも、使ったら、汚れてしまいます。汚れた水が、川や海に流れると、そこに住む魚たちが生きていけなくなります。それだけでは、ありません。私たち人間も、生

活できなくなってしまうです。下水道は、汚れた水をきれいにし、川や海の自然を守ってくれています。水の循環に大きな役割を果たしている下水道は、とても大切なのです。

ゴミや、食べ残しを下水に流してしまうと、下水管がつまる原因になったり、水の浄化のじやまになってしまったりします。私たちは、直せつ水をきれいにすることは、むずかしくて、できません。だけど、水が汚れないようにくふうすることはできます。私たちは、川や海にごみをすてないようにしたり、食べ残しを水に流さないようにしたりして、水をあまり汚さないように努力して、私たちも、浄化センターの手助けができるようになります。